

20春闘 勝利を目指して! VOL2

## 20春闘方針と春闘の三原則を確認しよう!

JR東労組は2月10日に開催された第46回定期中央委員会において20春闘の方針を決定しました!

### 20春闘方針

- (1) JR総連春闘として、一律ベア6,000円(定昇含まない)引き上げ要求
- (2) グリーンスタッフ・エルダー組合員の基本賃金6,000円引き上げ要求
- (3) 定期昇給(係数4)の実施を要求
- (4) 退職手当の算出基礎となる「第二基本給制度」の凍結を要求
- (5) 企画業務を担う組合員の待遇改善を図ることを要求

**ベアを実現するためには①世間相場②会社の支払い能力③私たちの組織力が大きく関係しています。これらを春闘の三原則と呼びます。**

#### ① 世間相場～私たちを取り巻く情勢～

経団連は、「ベアは選択肢」と容認しつつも、一律ではなく成果や職務、若手や中堅への重点配分など多様な方法があると主張しています。また、年功型賃金見直しの必要性も主張しています。

トヨタ労組はベアと定期昇給を合わせて「11,000円」の要求を決定しました。しかし、昨年引き続きベア額については未公表とし、さらには5段階の人事評価に基づいてベア額に差をつける制度を組合から要求しています。

#### ② 会社の支払い能力

JR東日本の2019年通期単体業績予想は、売上2兆1,410億円、当期純利益2,500億円となっています。2019年の社員数は約53,200人となっており、社員一人当たり換算すると売上げでは約4,000万円、純利益では約470万円を生み出していることとなります。この利益は、変革2027に基づく各種施策を担い、日夜職場で汗水流しながら働く私たちが生み出した大きな成果です。会社の支払い能力は十分にあると言えます。

#### ③ 私たちの組織力

労働組合の組織力はベア実現に向けた大きな要素であり、何よりも団結力を高めることが重要です。仲間と結集し、みんなで春闘をたたかうことが春闘勝利につながります。また、数は大きな力です。職場から組織強化・拡大の取り組みを推し進め、組織力を高めなくてはなりません!

職場から創意工夫して満額回答実現を目指し運動を展開しよう!

